

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点教育目標】

『考えを整理し、自分の力で実行できる子どもの育成』

〔笑顔・信頼〕〔学び合い・高め合い〕〔習慣・継続〕

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

冬休みに向けて

江差町立南が丘小学校長 吉岡 栄

先日の日曜参観日（南小フェスティバル）には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。特に小学生に弟や妹がいる中学生のみなさんにも、たくさん参加してもらいました。「今年の発表はどうか？」と小学生の顔をなつかしみ、楽しそうに参加している姿を見ると、「南小フェスティバル」がもうひとつの伝統行事であると感じました。子どもにとっては、お楽しみ行事という側面が大きいようですが、その中でも、「見通しをもって計画的に取り組むこと。」「友達と協力しながら進めること。」「言葉や文章を考え、わかりやすく説明すること。」「思いやりの心をもって人に接すること。」など、これまでの学習成果を生かしながら、とても大切なことを学ぶ機会にもなっています。今後も、準備時間などを工夫しながら、継続していきたい行事であると考えています。

さて、今年も残すところあと僅かとなりました。2学期は、猛暑による臨時休業からのスタートでした。12月には、インフルエンザによる学校閉鎖があったものの、現在は感染状況も落ち着き、無事に終えることができました。81日間の長い2学期、子どもたちがここまで、大きな事故等がなく元気に過ごすことができましたことは、ひとえに保護者の皆様、地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。

この2学期、子どもたちは友達とのかかわりの中でたくさんのことを学んできました。ところが、冬休みになると、「友達と一緒に…」という学校生活から一変、今度は家庭で「自分で考えて…」と、自分で学習や生活を計画し実践することが求められます。ですから、冬休み期間中はぜひ、「自分で計画したことを実行すること」「家庭の中でできることを見つけて取り組んでみることを」してほしいと願います。更には、北国に生きる子どもたちです。冬の季節感を心と体で感じられるように外での遊び、スキーなどのスポーツなど、北国ならではの暮らしを楽しんでほしいと思います。

学校も今年一年間を振り返るとともに、夢や願いをもって新学期を迎えられるよう準備して参りたいと思います。子どもたちが健康で安全に、楽しく思い出に残る有意義な冬休みを過ごすこと、そして、3学期に51人の子どもたちの元気な姿に会えることが本校教職員みんなの願うところです。

本年も本校の教育活動にご協力ご支援をいただきありがとうございました。保護者・地域の皆様にお礼を申し上げます。そして、子どもたち、保護者・地域の皆様にとって良い年を迎えられますようご祈念いたします。



自然の素材使ってリースづくり

12月5日（火）、1年生が檜山振興局林務課のご協力のもと、リースづくりに挑戦しました。松ぼっくりやドングリなど、たくさんの材料の中から好きなものを選び、グルーガン（プラスチックボンド）でくっつけて作りました。やけどをしないよう軍手をはめ、丁寧に仕上げました。ヒバの葉の中から初めて見るセミのぬけ殻に驚く子が多くいました。とても可愛いクリスマスリースを作ることができました。

南小フェスティバル開催

12月10日（日）、日曜参観日（南小フェスティバル）が開催されました。この南小フェスティバルは、子どもたちが自分たちで考え、作り上げる活動です。南が丘小学校では、この活動を行うにあたり、次の2つの目標を掲げて行っております。

- ①他者意識や思いやりをもったコーナー作りや運営を通し、丁寧に伝え合う力を育てる。
- ②各教科での学びや経験を活用した主体的なコーナー作りを行うことで、それらの学びに対する理解や活用力を育む態度を育てる。

子どもたちはこれまで学んできた様々な学習をつなぎ合わせ、お客さんに楽しんでもらおうと創意工夫し、コーナーの準備・運営に取り組んできました。当日も子どもたち一人一人が役割を意識しながら、お客さんへの思いやり・他者意識をもって生き生きと活動しておりました。子どもたちも保護者・異学年児童の喜び姿に達成感や満足感を感じながら意欲的に取り組んでおりました。また、保護者の皆さまにおかれましては、多数参加していただき、有難うございました。

1年生



松ぼっくりやドングリを使って色んな遊びのできる『あきのもりコーナー』

2・3年



3つのコーナー（射的・クイズ・言葉合わせ）をクリアし、「絵合わせ」に挑戦！

4年生



わくわくドキドキのトンネルをくぐれば、そこには「みんなのひみつ基地」が！！楽しい「的当て」に挑戦！

5・6年生



病棟をテーマに、暗闇の中を3枚のカルテを見つけ出して進む恐怖の「お化け屋敷」コーナー。



誰でも参加しやすいよう球の速さや打ち方を選べるリアル野球盤「冬の甲子園 みんな打て〜！」。

閉会式



各学年代表児童による感想発表。みんなの喜び笑顔を感じ、クラスの団結力も高まったようです。

性教育～かけがえのない命～

12月21日（木）、町保健師の藤八さんを講師としてお招きし、5年生のみなさんが理科「かけがえのない命～人の誕生」について学習しました。まず、はじめに藤八さんより思春期における体の成長と変化、子どもの生まれる仕組みや胎児の成長について性教育と関連させながら



学んでもらいました。また、講話の後には、「赤ちゃん人形抱っこ体験」を行い、照れくさそうに赤ちゃん人形を抱っこし、重さを体感しました。意外と重たいことを知り、驚いていました。命の大切さについて、講話や体験を通して学ぶことができました。

【第53回 檜山管内児童・生徒美術展】

令和5年度 第53回檜山管内児童・生徒美術展が開催され、檜山管内の小中学校から多数出品されました。本校からも12作品が出品され、見事4年の さんが「奨励賞」に選ばれました。8日（金）に、校長室にて授賞式が行われ、賞状と副賞を校長先生より受け渡されました。おめでとうございます。



【絆づくりメッセージコンクール】



北海道いじめ問題対策協議会が主催する「絆づくりメッセージコンクール」において、ことば・メッセージ 小学校の部で、2年生の さんが『檜山教育局奨励賞』を受賞いたしました。おめでとうございます。

《かながえて かなしいことば いわないで》

なわとび発表会行いました



12月22日（金）、1～3年生による『なわとび発表会』が行われました。1か月前から練習に取り組み、前・後ろ回し、前・後ろあやとび、二重とびに挑戦し、休み時間も練習に取り組んでできました。発表会開会式では、1年生3名による選手宣誓が行われ、これまでの成果を発表し合いました。冬場の体力づくりにピッタリな「なわとび」、冬休み中も継続していけるといいですね。



明日から冬休みスタート ～規則正しい生活を～

明日12月27日（水）から1月15日（月）までの20日間の冬休みとなります。この冬休みの期間は、子どもたちが楽しみにしているお正月もあります。学校でも十分指導はいたしますが、ご家庭で休

み中の約束をしっかりと立てて、有意義で楽しい冬休みを送れるよう、以下の点について子どもたちへのご指導をお願いいたします。また、新たな年への新たな決意や抱負などを決めましょう。また、毎日、自主的・自律的に生きる力を育てていくことを願っています。

- 1、学習**
 - 冬休みの課題や、今までの復習など計画的にさせてください。
 - ゆっくりとした読書の時間をとっていきましょう。
- 2、交通安全等**
 - 道路で遊ばない、道路を横断するときは左右確認（車は急に止まれません）家の軒下で遊ばないなど、冬型の事故に十分気をつけてください。
- 3、生活**
 - 早寝・早起き・朝ごはん：規則正しい生活を心がけてください。
 - 検温、健康観察、手洗いやマスクの着用など基本的な感染症対策の徹底をお願いします。
- 4、ネットトラブル**
 - インターネット上に書き込んだ情報は、ネット上に公開されたり、取り消すことができないことやインターネット上でのやり取りは、本来の気持ちが伝わりにくいことが多いことをご家庭でも指導してください。
 - 携帯電話やスマートフォン等を利用した、トラブルのもとになるような書き込み、画像のアップロード、個人情報の掲載をしないようご家庭での指導をお願いします。
 - フィルタリングサービスの利用や家庭でのルール作りをお願いします。



＜南小ネットトラブル三か条＞

- ①スマホやタブレット、通信型ゲーム機等を持たせる場合は、必ずルールや約束を決め、守れないときは使用を制限する。
- ②夜9時以降は、目の届く場所に置かせるなど、保護者が預かるようにする。
- ③有害サイトを制限するフィルタリングサービスを必ず受ける。

1月

- 1日（月） 元日 年始休業 学校閉庁日（～5日まで）
- 8日（月） 成人の日
- 9日（火） 町スキー教室（～11日湯ノ岱 12日七飯）
- 15日（月） 冬季休業最終日
- 16日（火） 3学期始業式（午前授業 給食なし）二計測（1年生）
- 17日（水） スキーグラウンド練習（2・3年生）
二計測（2～6年）
- 18日（木） 学カテスト（国語）
- 19日（金） 学カテスト（算数）
- 22日（月） 委員会
- 23日（火） フレンズ班レク（1～3班） ALT来校
- 24日（水） フレンズ班レク（4～6班）
- 25日（木） 全校朝会（3・5年）
スキー学習（4・5・6年 12:15～15:40）
- 29日（月） クラブ（反省）
- 30日（火） フレンズ班サポート学習（3～6年）



北海道教育委員会より、家庭教育に関する悩み相談窓口のお知らせが届いております。

子ども相談支援センター相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

☎ 0120-3882-56（無料、毎日24時間対応）

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談

（10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。）

子ども相談支援センター 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
? 上記の電話相談で予約してください。

※ センターのWebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。

<http://www.dokyoji.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudaniirei.pdf>



電話をかける 0120-99-7777（フリーダイヤル）